



赤谷プロジェクト地域協議会
(公財) 日本自然保護協会
林野庁関東森林管理局

AKAYA PROJECT MINAKAMI

●赤谷の森のいま

なんで“イヌワシストア”なの？

株式会社 plower 代表取締役 茶屋 尚輝

●地域と繋がる赤谷プロジェクト

みなかみ町教育委員会事務局 学校教育課 学校教育係 片桐 郁子

●植樹から5年、遂にいきもの村の桐に花が咲いた！

桐匠根津 四代目 根津 安臣

(シカ柵内のニッコウキスゲ 撮影：赤谷森林ふれあい推進センター)

AKAYANO MORIDAYORI

赤谷の森だより

2024.8.1

vol. **56**

AKAYA no MORI

ミニ写真館

今回のテーマ

「初夏から夏にかけて見られる 赤谷の森の花々」

(写真：赤谷森林ふれあい推進センター)



エゾアジサイ



ノリウツギ



シモツケ



ミヤマカラマツ



サルメンエビネ

赤谷の森の
いま

なんで

イヌワシストア

なの？

みなかみ町の玄関口、上越新幹線の上毛高原駅構内で、4月に「イヌワシストア」というコーヒースタンドを開業した株式会社 plower の茶屋といえます。

お店に立ち寄ってくれるお客さんから、よく質問を受けます。

「なんでイヌワシストアなの？」

誰かが感じる、この「なんで？」がイヌワシストアをつくった理由であり、存在する理由です。

どこにいても同じような場所が作られて、同じようなものが売られている世界に

なりました。世界中の情報が簡単に手に入り、各地の物が数日で届きます。

日本の地方でいえば「他と同じではない」と、なんとなく感じていながら、周りと同じであることに安心を感じがちな私達はその他と一緒に埋もれていってしまう、というパターンを各地で見かけるように思います。「自然が豊かな場所」も、各地方にたくさんあります。みなかみ町の魅力はなんだろう？

数年前、土台駅の開発事業で町へ移住してきた私に、「〇〇からの景色が綺麗だね」「〇〇で汲める水が美味しいんだよ」と言っていて、町の皆さんがそれぞれの「とっておきの自然を、嬉しそうに教えてくださった事に、とても感動しました。この、自然を愛し大切にしたいと思っている人々が町に沢山いらっしやる事、とても素敵だなと感じています。

イヌワシストアは、こういう、みなかみの豊かさや赤谷プロジェクトの事を知る「ぎっかけ」を、コーヒー杯と一緒に、たくさんの方に届けていく存在になろうと思いつきました。

そんなお店の雰囲気をつくっている、店の内装と家具の木材達。これは、赤谷プロジェクトの活動で伐採された赤松を使用させてもらっています。

いいし、それで生じるちよつとした使いにくさのようなものも、「味」として受け入れて慣れていけばいいだけです。

いま、たくさんのお客様が、この赤松の家員達を「素敵だね」「かっこいいね」「うちにもこんなのが欲しいな」と言ってくれます。従来の感覚では、なかなか価値を見出せていなかったのかも知れませんが、赤谷プロジェクトの活動で、計画的に伐採される木材に纏わるストーリーは、切り出された木材に大きな価値をもたらすものだと思っています。そのストーリーと共に木材達を、たくさんの方の目に触れて、日常に溶け込んでいくものに変えていければいいなと考えていて、販路の整理と、商品の企画開発を進められればと計画しているところです。

20年を超えて続く赤谷プロジェクトには、とても多くの方々の想いや願いがたくさん詰まっていると思います。これは、他の地域にはそうそう無い。まさに、「みなかみならではの魅力」であり、未来への資源だと感じていて、そういう活動がこの町にあるのだという事で、住んでいる私は、とても誇らしい気持ちになります。

これからも、私達なりのやり方で、町を訪れる方々に「なんでイヌワシストアなの？」という違和感と共に、まずは知ってもらうことを続けていきます。



株式会社 plower 代表取締役

ちゃや

なおき

茶屋 尚輝

地域と繋がる 赤谷プロジェクト

みなかみ町教育委員会事務局
学校教育課 学校教育係

かたぎり いくこ
片桐 郁子さん



自己紹介と普段取り組んでいること(仕事含む)を教えてください。

みなかみ町教育委員会学校教育課に勤務しています。ALT、小中学生の自然学習活動に関すること、中学生海外派遣事業等の学校教育に関わる事務をしています。

赤谷プロジェクト関係者と知り合った経緯を教えてください。

教育委員会では平成29年度より台湾の台南市立崇明国民中学校との交流を行っており、今年の6月4日に崇明国民中学校訪問団がみなかみ中学校を訪れました。日台の中学生が楽しく交流しながら、みなかみBRが目指している「水と森林を「守り、活かし、広める」人を育てていくこと」に共感していただけるような体験を提供したいという思いから、赤谷森林ふれあい推進センター栗田



▲みなかみ中と崇明中の交流風景

所長に講師を依頼しました。栗田所長を始め、スタッフ皆さんのお力をお借りして、日台の中学生が「森のかげらのストラップ作り」に和気藹々と取り組み、貴重な体験ができました。大変ありがとうございました。

今後、赤谷プロジェクト関係者で行ってみたい企画等がありましたらお願いします。

以前行われていた新治小学校の親子どんぐり拾いに参加し、拾ったどんぐりを育て、森へ還す活動を経験したことがあります。みなかみ町の子も達が町の自然の素晴らしさを体験し、この自然を守っていききたいと実感できるような学習活動ができればいいなと思います。

▼親子どんぐり拾い



▼大きくなった苗木と共に



赤谷プロジェクトへ一言!(何でもOK!)

上の子ども達が幼い頃、森のかげらのストラップ作りやひのきの球果のストラップ作り等のワークショップに参加し、親子で楽しませていただいていた。2017年にはイヌワシの観察会にも参加させていただきました。赤谷プロジェクトについて、もっと地域の方に知ってもらいたいと思うので、小さな子ども達から大人まで気軽に参加できるような活動があったらいいなと思います。今度は末っ子と一緒に参加したいと思います。

植樹から5年、

遂に/いきもの村の桐に花が咲いた!

桐の植栽プロジェクトは、2018年の後半、福島県三島町を地域協議会メンバー中心に訪れ苗木を20本譲っていただき、いきもの村に桐の植樹をしてスタートしました。

赤谷センターの方々や地域協議会メンバーにご協力いただき、草刈りや芽掻き作業を実施しました。また、近隣の地域協議会メンバーの方々に獣被害や経過の見回りをしていただき、毎年5月になるとまだかまだかと今年こそは咲いてくれと思っていました。

植樹から約5年半かかり、ついに待望の花が咲きました。苗木の時から合わせると7年になります。途中1年生の苗木が全滅してしまうなど、学びながらの部分が多々ありました。不安もありましたが、やっていくうちに徐々に育成の知識もついていき、2年生の10本の桐は成長に差はありますが現在も順調に育っています。咲きたての花の香りを嗅ぎたくて下の方に枝を残し手が届くようにして、今年ついに紫の綺麗な花を見るだけでなく香りを嗅ぐこともできました。爽やかな

バナナのようなとても良い甘い香りです。

いきもの村での桐プロジェクトから始まり、現在では町内の耕作放棄地に桐の植栽を行い300本近くの桐が町内で育っています。いきもの村の20本から始まったこの取り組みを町内に広げていき、地域の耕作放棄地、遊休農地改善にも貢献できたらと考えています。



桐匠根津 四代目
ねづ やすおみ
根津 安臣



色々な活動をしているよ!

赤谷プロジェクトの活動

トピックス



R6.5.11

赤谷の森自然散策(春)

快晴の旧三国街道において、ニリンソウやキジムシロの群落の中を散策し、春の息吹を満喫。



R6.5.21

新治小学校 5 年生の森林環境学習

みなかみ町相俣の小出俣林道において、身近な自然の魅力に気付く体験活動を実施。



R6.5.31

JICA研修受け入れ

8ヶ国から来日された研修生に赤谷プロジェクトの生物多様性の復元等の取組を紹介。



R6.6.4

台南市立崇明国民中学校交流学习会

みなかみ中学校において、台湾から来日された中学生と地元中学生が、群馬県産材を使ったストラップ作りで交流。



R6.6.11

新治小学校6年生の森林環境学習

旧三国街道において、地元の自然や歴史を学ぶため三国権現や旧街道の歴史を体感。



R6.6.19

2024年度第1回企画運営会議

令和6年度の1年間における赤谷プロジェクトの各ワーキング(植生・猛禽・哺乳類・溪流環境・環境教育・地域づくり)等の実施計画について協議・意見交換を実施。

着任のご挨拶



赤谷森林ふれあい推進センター 所長 栗田 喜則

赤谷の森に帰ってきたぞ! (約10年ぶり2回目の勤務となりました)
早速関係機関へ挨拶回りを行ったところ、「お帰りなさい」と大勢の方々にあたたかく迎えていただきました。感謝感謝です。(^^)

10年前の当時と今を見極めながら、20周年を迎えた、赤谷プロジェクトのこれからの、しっかりと道筋を考えて、関係者の皆様との調整等を進めて行きたいと考えております。

これからどうぞよろしくお願いいたします。(^^)/



赤谷森林ふれあい推進センター 鈴木 優也

皆さんはじめまして! 令和6年4月から赤谷センターに配属となりました鈴木優也です。主に赤谷のHPとブログの作成、環境教育を担当させていただいております。ブログでは赤谷プロジェクトの取組を発信しておりますので是非ご覧ください! 日々忙しい中、多くの関係者や協力者の方々と共に活動をしているためとても楽しく業務に励んでいます。今後も関係者の方々との協力しながら、赤谷の森に皆様に来てくださるような活動ができるよう頑張っていきます。よろしくお願いいたします。

赤谷プロジェクト、って?

赤谷プロジェクトは、人と自然の共生と持続可能な地域づくりをめざして活動しています。地域、自然保護団体、国有林管理者という立場の異なる三者が共に活動するという、全国的にもめずらしい取組です。

活動地域は、群馬県みなかみ町北部、新潟県との県境に広がる約1万ha(10km四方)の国有林。ほぼ中央に赤谷川が流れることから「赤谷の森」と呼んでいます。

植物や生き物の調査・研究、環境教育、研修の受入れなど、活動はさまざま。毎月第一土曜日に行われる「赤谷の日」には、県内外のサポーターが調査や体験学習などを行っています。どなたでも参加できますので、お気軽にお問い合わせください。

イベントのお知らせ

赤谷プロジェクト特設展示ブース

日 令和6年7月23日(火)~8月23日(金)

時 期間内は終日展示しております

場 JR上毛高原駅 (設置日・撤去日を除く)

料 無料 申 不要

赤谷の森自然散策(秋)

日 令和6年10月5日(土)

時 9:00~15:30(予定)

場 旧三国街道(群馬県利根郡みなかみ町)

料 無料 申 要申込

※9月頃にHP・SNS等でお知らせします

赤谷森林ふれあい推進センター

検索

トピックスやイベントの詳細は赤谷センターHPをチェック!



イヌワシ木材の利活用にご協力いただける方 募集!!

「赤谷プロジェクト」や「みなかみネイチャーポジティブプロジェクト」では生物多様性のある森林づくりや、イヌワシの狩場創出に取り組んでいます。プロジェクトにより伐採したアカマツや広葉樹などについて、自然環境保全につながる木材利活用のご提案を頂ける方を募集します。

応募フォームはこちら



募集期間 2024年8月中

応募方法 QRを読み取り、フォームに必要事項を入力してください。

※個人情報は当プロジェクト以外には使用しません

問合せ・申請先 日本自然保護協会:森本

akaya@nacsj.or.jp

follow me



この情報誌は、間伐材利用の紙を使用しています。

赤谷プロジェクト地域協議会

TEL 0278-25-8777

※「森のおもちゃの家」内

理事 本多 結

メールアドレス y-honda@takuminosato.or.jp

(公財)日本自然保護協会【NACS-J】

TEL 03-3553-4101

プロジェクト担当 森本 裕希子

メールアドレス akaya@nacsj.or.jp

林野庁関東森林管理局
赤谷森林ふれあい推進センター

TEL 0278-60-1272

所長 栗田 喜則

http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/kanto/akaya_fc/index.html

メールアドレス ks_akaya_postmaster@maff.go.jp